



2019年、春 ～夢を形に～

「大志・継続・実現」

学校長 横山 豊

新入生の皆さん、本日の
ご入学おめでとうございます。

今年度より鶯谷中学・高等学校の校長を務めさせていただきますことになりました横山豊(よこやまゆたか)と申します。よろしく申し上げます。

私は本校に勤め始めてから40年になります。その間に本校は世間から「鶯谷の奇跡」と評される発展を遂げたのですが、それを教壇の上から見つめ続けてきました。

私が新任の頃は、鶯谷女子高等学校と呼ばれていました。商業科、普通科、家政科、音楽科といった、女子校らしい科がある学校で、その多くのクラスには50名近くの生徒がいました。その中で私は、普通科進学コースの担任をさせていただき、幸い3年間持ち上がり48名の卒業生を送り出しました。その卒業式で感じたあの達成感に満ちた初々しい感動は、今でも鮮烈に心に残っています。また当時の卒業生とは、今でも同窓会で年に一度は思い出話に花を咲かせています。

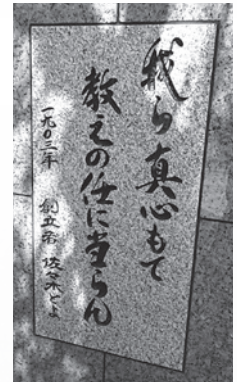
そんな鶯谷女子高等学校に、1979年、国公立大学や有名私立大学を目指す「普通科英進コース」ができました。1期生は1クラスしかなく、13名のみでした。30代になった私は、1クラスが21名だった時に担任になりました。当時の生徒たちにはパイオニア精神があり、共に懸命に努力し本校の新しい歴史を創ったことも、私のかげがえのない思い出です。その後は普通科英進コースの担任を繰り返し務めました。

そして1990年に男女共学になり、1996年には校名が鶯谷中学・高等学校と変わり、「中高一貫教育」が始まりました。40歳から私は、「中高一貫コース」の初めてのクラス(21名)の担任となりました。実はこの新しいチャレンジには少々不安

もありましたが、始まってみると中学生たちは自分の子どものように、自分自身も若返ったように感じました。その「中高一貫コース」も、今年で23年目となります。

さて、そんな本校の発展のエンジンとなったのは、「自立・自尊」という建学の精神です。「自分自身に自信とプライドを持って生きていかねば、人間としての自尊心は確立できない」という意味です。本校は、この「自立・自尊」の建学の精神のもと、「知・徳・体」のバランスの取れた教育を行い、これからの日本を支えていく「心豊かで、たくましく、自ら考え行動できる優れたリーダーの育成」を目指していきます。

また本校職員は、明治36年10月18日の学園創設における佐々木とよ先生の言葉にある、「我ら真心もて教への任に当らん」という教えを守り、「生徒に夢をあきらめさせない教育、生徒の指導に手間を惜しまない教育」を心がけてきました。



さて、今日から皆さんに目指してほしいのは、本校のスローガンでもある、「大志・継続・実現」です。

まずは大きな志、つまり大きな夢をもちましょう。そして6年間、または3年間たゆまぬ努力を継続しましょう。そうすればきっと皆さんの夢は実現するに違いありません。

本日入学された皆さんの一人ひとりの夢の実現と、人間としての成長を心から願っています。

ともに頑張りましょう。